

イタリア・ルネサンスの話(15世紀)

アラビアからイタリアへ

中世、最も文化的に栄えたのは、イスラム教の国々、アラビアでした。
アラビアでは、医学・数学・天文学・化学が続々と生まれました。
英語の次の言葉は、アラビアからヨーロッパに入ってきたものです。次の言葉は何のことでしょう。

alcohol =	alkali =
sherbet =	sugar =
algebra =	coffee =
check =	zero =

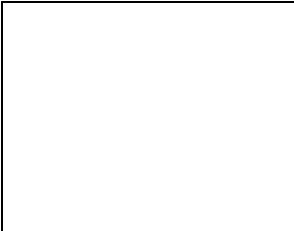
アラビアの素晴らしい生活については、アラビアンナイト=千一夜物語の中に載っています。
ディズニーの「アラジンの不思議なランプ」の物語に、お姫様や素晴らしい御殿が出てきますが、鎌倉時代にアラビアの砂漠でシャーベットを飲んでいたらとすると、その進んだ文化が分かると思います。

そのころのヨーロッパは、まだまだ遅れていて、大変な田舎で、人々は、レンガ造りの家に、ベッドも作らず枯草を敷いて寝ているようなようすでした。

15世紀、アラビアと貿易を始めたイタリアは、アラビアから輸入した品物をヨーロッパに売り、大もうけしました。たくさんの豊かなものがアラビアからヨーロッパに輸入されましたが、中でも一番もうかったのが、スパイスでした。

アフリカからインド、東南アジアにかけての国々では、寒いヨーロッパでは取れない作物がたくさん豊富に取れました。熱帯、特にインドで取れるスパイス(香辛料)は、ヨーロッパの人々に、大人気でした。その理由は、ヨーロッパの人々は、秋にドングリを食べて太ったイノシシ=豚を、冬の間中、保存して食べているのですが、だんだん肉が腐りかけてきて、においが発生します。その時、このスパイスを使えば、おいしく食べられるとして、王様貴族の間で大人気でした。

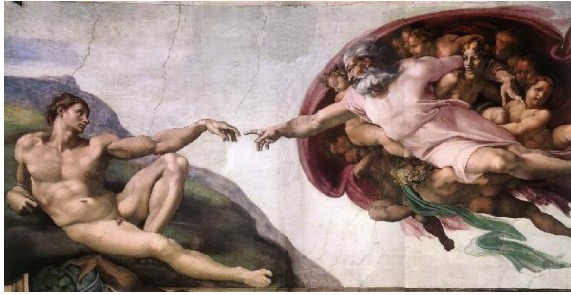
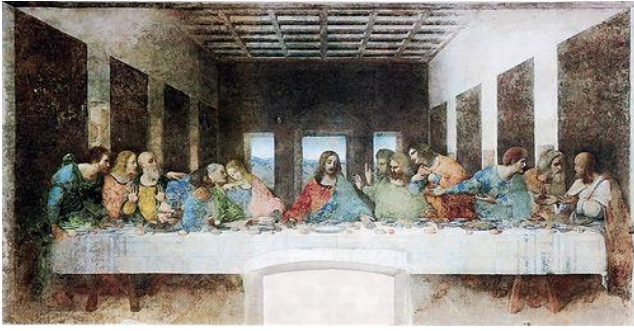
このスパイスは銀や金と交換されたといわれています。そのスパイスとは何でしょう？



イタリアの最高の文化=ルネサンスへ

次の絵画は、だれが作者でしょう？ 下に名前を書きましょう。





レオナルド・
ダ・ヴィンチ

ミケランジェロ

ボッティチェリ

ラファエロ

メジチ家の紋章

このスパイスを使って、大もうけした商人のなかで有名なのが「メジチ家」です。

大もうけしたメジチ家は、そのお金を芸術家たちにつぎ込みます。パトロンとして芸術家たちにお金を渡し、肖像画を描かせたり、自由に絵を描かせたり、彫刻を作らせたり、町を設計させたりしました。

メジチ家にお金をもらって素晴らしい絵を描いていた芸術家をあげるとすると、一番有名な四人が、次の四人です。素晴らしい絵は、前の時代と違って、人間の裸体をも描き、そのやわらかな美しさは、今の時代から見ても最高の水準です。

その芸術家たちそれぞれに、物語があります。

ダヴィンチは、あらゆる面で天才でした。解剖学を始め軍事技術者、土木建築の設計。

ヘリコプターも考えて設計図が残されている。

ミケランジェロは、大きな仕事を残している。バチカン市国のローマ法王の住むシステナ礼拝堂の天井には最後の審判の様子が描かれている。世界遺産である。

ボッティチェリのビーナス誕生は、あらゆる人々を魅了し、ラファエロは、聖母マリアを描く天才として知られている。

スパイスを求めてスペインの王とポルトガルの王は争い、**インドへの海の道**を求めた。